

おといねっふ 議会だより



【 元気な声で「はい！」 ～幼稚園入園式～ 】

令和8年 第1回定例会

目次

第1回定例会 行政執行方針・教育行政執行方針	P 1～P 4
<報告>議会改革特別委員会	P 4
第1回定例会一般質問	P 5～P 6
第1回定例会で可決・承認された議案	P 7～P 9
第1回臨時会で可決承認された議案	P 9～P 10
予算審査特別委員会	P 10～P 11

平成28年度以来

30億円超の大型予算

↳ 令和8年度予算可決

令和8年第1回定例会が3月10日に召集され、村長・教育長の行政執行方針、議員2名の一般質問の後、令和8年度当初予算を含む、議案22件の審議を行い、会期を1日残り、3月12日に閉会しました。

令和8年度行政執行方針 および各会計予算概要 (要旨) 村長 遠藤 貴幸

令和8年度一般会計予算総額は、30億3100万円となり、対前年度比では3億9900万円、15・2%の増となった。

編成にあたって、補助金や起債など多角的な財源の確保と、限られた財源の有効活用と各種事業の必要性、優先度、内容等を精査したが、本年度も財政調整基金から1億8400万円程

業など、交付対象となる事業費を見込んだことにより、大幅な増額となった。

自主財源の村税は、村民税で法人の減少見込みにより47万9千円の減、固定資産税は家屋及び償却資産に係る課税標準の増



により43万1千円の増、軽自動車税は課税台数の増により10万9千円の増、たばこ税は販売本数の減により75万7千円の減、入湯税は宿泊者数の減により7千円の減と見込み、村税総体では7875万2千円となった。

その他の歳入財源は、地方譲与税は5099万6千円、交付金関係は過去の実績等により全体で3000万円。国庫支出金は、辺地共聴施設高度化改修事業補助金等の増で1億9024万8千円、道支出金は、新しい地方経済・生活環境創生交付金等の増により3276万7千円、寄附金は3221万円、使用料・手数料は4637万5千円、財産収入は1906万6千円となった。

財源不足を補填する基金繰入金は、2億5945万9千円、対前年度比で5436万8千円の増となった。基金繰入の内訳は、財政調整基金1億8461万5千円、減債基金2000万円、人づくり振興基金32万2千円、公共施設整備基金1048万円、地域福祉基金1000万円、J

R天北線代替輸送確保基金225万3千円、テレビ共同受信施設基金135万9千円、農業振興基金800万円、高等学校振

興基金1400万円、芸術・文化振興基金42万円、ふるさと応援基金300万円、森林環境譲与税基金501万円。

村債は、4億4780万円で、名寄地区一般廃棄物中間処理施設建設事業、公民館受変電設備改修工事等に係る過疎債、防犯灯LED化事業、JALERT受信機整備事業等に係る脱炭素化推進事業債等の増により、対前年度比で1億3390万円の増となった。

◆ 主要な新規事業

○ 総務課関係

役場庁舎トイレ改修工事847万円、木工芸センター受電設備改修低圧化工事547万8千円、全国瞬時警報システムJALERT受信機整備事業として1100万円。令和7年度に実施設計したテレビ共同受信施設光化改修工事に1億4221万



9千円、村へのUIJター新
規就業支援事業として移住支援
交付金170万1千円を計上。

○住民課関係

戸籍附票システム改修委託業
務として207万9千円を計上。

○経済課関係

自然災害や現場確認等に対応
するため公用車更新事業として、
中古車購入費400万円を計上。



○教育関係

おといねっふ美術工芸高校改
修工事として、体育館照明LE
D化工事1261万7千円、普
通教室冷房設備工事411万4
千円。学校紹介映像制作委託料
900万円。チセネシリ寮整備
改修工事として、男子寮外壁屋
根改修工事1375万円、食堂
冷房設備工事379万5千円。
公民館受変電設備改修工事21
59万3千円を計上した。

◆主要な継続事業

○総務課関係

定住化対策事業として、持家
住宅促進奨励補助金280万
円。住宅増改築及び廃屋解体撤
去補助事業として、住宅増改築
補助金4件分200万円、廃屋
解体撤去補助金3件で130万
円。村有林整備事業として、春期
造林4・5ha、下刈り17・63ha、
保育間伐2・2ha、立木売却5
ha、村有林整備事業約4万30
20m²、1472万5千円。各課
における外部人材等活用事業と
して、地域活性化起業人、地域お
こし協力隊、地域プロジェクト
マネージャー、二地域居住コー
ディネーター、地域力創造アド
バイザー等に係る人件費および
活動経費等として、総額2億2
123万2千円を計上した。

○住民課関係

防犯灯LED化改修工事とし
て、テーパーポール25台分77
0万円。令和9年度供用開始の名
寄地区一般廃棄物中間処理施設
建設事業負担金として2億59
99万2千円。社会福祉協議会運
営補助事業として357万2千
円。地域複合施設「ときわ」管理
委託、生きがいデーサービス・ヘ
ルプサービス事業等として90
08万3千円を計上。

○経済課関係

農業基盤整備事業として、小規
模基盤整備事業補助金415万
円、土づくり対策事業補助金26
9万円、機械・設備等整備事業補
助金335万7千円、新規就農対
策事業として、営農実習及び指導
助成金、住宅料補助で合計192
万円。有害鳥獣対策事業として、
駆除に係る報奨金、委託料、消耗
品備品等、合計519万5千円。
物価高騰対応支援事業となるプ
レミアム付き商品券販売事業は、
商品券800セット販売を見込

み310万円。中小企業振興事
業として、おと高卒業生雇用奨
励補助金96万円、中小企業融資
制度貸付金850万円。管内橋
梁点検委託業務として、37橋の
点検委託料2700万円。上音
威子府本流線幸橋補修設計委託
業務として、橋梁補修設計88
0万円。音威子府神社線神社橋
補修工事として、橋梁長寿命化
修繕事業2520万円。音威子
府常盤線道路側溝改修工事とし
て、延長66mで570万円を計
上した。

○特別会計・公営企業会計

特別会計3会計の予算総額は、
2億2930万円となり、対前年
度比1570万円の増となった。
国民健康保険特別会計は、95
20万円、対前年度比280万円
の増で、各種計画作成支援及び服
薬情報通知事業委託料の増によ
るもの。

○教育委員会関係



おといねっふ美術工芸高校振
興事業として、教材消耗品、原材
料、備品で631万5千円、高大
連携補助金135万円、学校運
営交付金1269万7千円。保
健体育振興事業として、各種ス
キー大会等の補助に203万円
を計上。

介護保険特別会計の保険事業
勘定は、7980万円、対前年度
比560万円の増で、施設介護サ
ービス給付費の増によるもの、サ
ービス事業勘定は3520万円、
対前年度比300万円の増で、デ
イサービス事業管理委託料の増
によるもの。

後期高齢者医療特別会計は1
910万円、対前年度比430万
円の増で、広域連合納付金の増に
よるもの。
簡易水道事業会計は5830
万1千円、対前年度比1883万
6千円の減で、LCD監視装置更
新業務の完了によるもの。
農業集落排水事業会計は75

64万6千円、対前年度比310万2千円の増で、浄化センター委託料の増によるもの。

以上、令和8年度の予算編成方針及び各会計予算についての概要をご説明申し上げ、その執行にあたっては歳入の確保と歳出の節減に誠心誠意努力していきます。皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

教育行政執行方針（要旨）

教育長 高橋 利玄

今、教育に求められるのは、子どもたち一人ひとりが自らの可能性を信じ、未来を切り拓く力を育むとともに、誰一人取り残さない「ウェルビーイング」を



現すること。本村においては、北海道教育委員会の「第4期北海道教育推進計画」や「上川学びフ

オーカス」の方向性を踏まえつつ、地域の宝である子どもたちが、ふるさとへの誇りと愛着を持ち、たくましく成長できるように、学校・家庭・地域が一体となつた教育を推進していく。

○幼児教育関係

幼児期は、人間形成の基礎を培う極めて重要な時期。「豊かな心を持ち明るく行動し、自立を目指す幼児の育成」を目標に、遊びを通じた情緒的・知的な発達と社会性の育成を図る。

小学校への円滑な接続を図るため、幼児期からの学びと生活の基盤づくりを推進するとともに、個々の発達の特性に応じた質の高い保育・教育を提供できるように、保育者の研修機会を確保し、指導力の向上に努める。新たに、本村の豊かな地域資源を活用し、都市部の子育て家族が一定期間本村で暮らしながら

保育サービスを受ける「保育園留学」を令和8年度から実施する。対象は3歳から5歳とし、期間を定めた中で、幼児期からの多様な交流機会を創出するとともに、本村の魅力発信に繋げていく。



○義務教育関係

義務教育では、ICTを活用した「個別最適な学び」と「協同的な学び」を一体的に推進し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組み。令和7年度より、地域活性化起業人（企業派遣型）として契約している「NPO法人きよせラボ」と引き続き連携し、本村と東京都清瀬市の児童・生徒によるオンラインを活用した交流を充実させるとともに、本村小中学校への短期または長期の留学制度の確立に向けた具体的な準備に

着手し、多様な教育機会の創出を目指していく。令和7年8月から開始した昼食提供サービス「おとらんち」は、児童・生徒の健やかな体の成長と望ましい食習慣を確立するため、毎日提供の「学校給食」として正式に位置付け実施していく。これに伴い、新たに栄養教諭を配置し、専門的な知見に基づく栄養管理を行うとともに、地域の食材を活かした食育の授業を充実させ、感謝の心や地域の食文化への理解を深める教育活動を展開していく。



今日の課題である教員不足、特に音楽の専科教員の不在に対応するため、地域活性化起業人（副業型）を活用し、東京都

清瀬市の音楽文化プロデューサーと契約を結び、小中学校の音楽授業をサポートしてもらい、子どもたちが本物の芸術に触れる機会を創出し、感性豊かな心の育成と音楽教育の質の向上を図っていく。

部活動の地域移行については、近隣自治体や関係団体と連携し、地域の実情に応じた持続可能なスポーツ・文化活動の環境整備を進めるとともに、安全で快適な学習環境の維持に努める。

○高等学校教育関係

本村の教育と文化の象徴と言える、おといねっぷ美術工芸高等学校は、「造形体験を重ね、創造力を育成する」という目標のもと、北海道唯一の工芸科単科校としての魅力をさらに高めていく。また、生徒確保の取り組みとしては、道内での中学校訪問に加え、SNS等を活用した戦略的な広報活動や「地域みらい留学」を通じて全国的な募集を強化する。

学校施設においては体育館照

明のLED化および普通教室への冷房設備設置を実施し、チセネシリ寮においては男子寮の外壁・屋根改修を行うとともに、食堂に冷房設備を設置し、生徒の健康と安全に配慮した施設環境の充実を図っていく。



○社会教育関係

社会教育行政については、令和8年度から新たにスタートする「第10次音威子府村社会教育中期計画」を基本方針とし、村民一人ひとりが生涯を通じて学び、健やかに自己を研鑽できる環境づくりを推進していく。

放課後子ども教室では、安定的な運営により児童の安全な居場所と多様な体験の機会を保障する。全世代の健康増進と運動習慣の定着については、ヘルシ

ーフィットネス教室やフィールドくらぶを通じて取り組んでいく。トレーニングセンターについては休館を継続するが、ご理解をいただきたい。

社会教育の新たな展開として、先述の音楽文化プロデューサーの知見を活かし、音楽ワークショップやコンサートの開催など、音楽を通じた芸術文化の振興を図っていく。

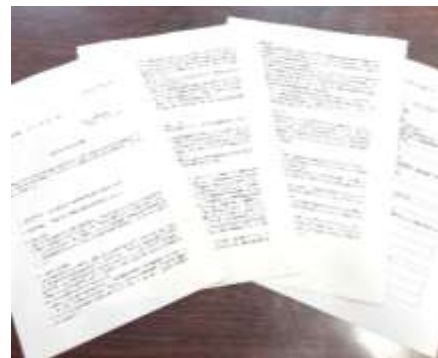
子どもたちが、音威子府村という豊かな環境の中で、多様な人々と関わり合いながら、自分らしく幸福な人生を歩んでいくよう、全力を尽くす。また、北海道教育委員会が示す「こどもまんなか」の理念のもと、ふるさとへの誇りと愛着を持ち、共に支え合い、たくましい人材へと成長できるように、学校・家庭・地域・行政が強固に連携し、持続可能な教育体制を構築していく。以上、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げ、令和8年度の教育行政執行方針とする。

議員定数6名を維持

議会改革特別委員会が報告

議会改革特別委員会（委員長・小西邦広副議長）は、調査終了にあたり、第1回定例会にその結果を報告しました。

本委員会は、議員のなり手不足などの諸課題に対応するため「議会改革に関する問題の調査並びに検討について」を調査事件に令和5年第4回定例会において設置されました。委員会は計12回開催され、7項目について議論されました。結果は次のとおり。（※委員会報告を要約）



議会改革特別委員会報告書

(1) 町村総会導入の検証

結論：導入は見送り、現行の議会制度を維持。

地方自治法上の制度ではあるが、議会維持が原則。また、全有権者が一堂に会して議会機能と同等の民主主義を實踐できる環境が、現実的には整っていない。

(2) 議会の在り方の検証

結論：開催方法は現体制を継続。

夜間・休日議会、通年議会は、手当や日程調整等に課題がある他、執行部等の負担が大きい。動画配信などを通じ、住民の関心を高める。

(3) 政策サポーター制度導入の検証

結論：導入は時期尚早と判断。

先進自治体でもサポーター確保に苦慮している。本村では、まずは議会への関心を高める取り組みを優先する。

(4) ハラスメント対策について

結論：「村議会ハラスメント防止条例（仮称）」を早急に整備する。あらゆるハラスメントを対象とした条例を制定。職員と合同の研修会の開催も検討する。

(5) 議員定数について

結論：現行の「6名体制」を維持。

委員会運営や監査委員、事務組合派遣を考えると、これ以上の削減は行政のチェック機能を損なう恐れがある。なり手不足は深刻だが、解消に注力する。

(6) 政務活動費導入の検証

結論：現状では導入の必要なし。

政策の質向上には重要だが、必要な視察は公務として実施できている。個人負担の調査研究費も軽微な範囲との認識。

(7) 議員報酬引き上げの検証

結論：報酬引き上げは継続課題。

現在の報酬は全道・全国平均を大幅に下回っており、「なり手不足」の一因と考えられる。住民との対話を通じて理解を得られる努力をしていく。

令和8年第1回（3月）定例会 一般質問

「行政サービスに対するカスタマーハラスメントについて」

質問者 玉田 健 議員
答弁者 遠藤村長

玉田議員

全国の自治体でカスタムハラ被害が深刻化し、職員の離職や住民サービスの低下を招いている。単なる苦情とカスタムハラの境界線をどのように認識しているか。



村長

苦情はサービス向上に繋がるものだが、常識の範囲を超え、職員の人格や尊厳を傷つけるものは組織として毅然と対応すべきと考えている。現在作成中の指針では、差別的言動、大声での恫喝、不当な土下座要求などを具象として定義している。

玉田議員

定義の共有は重要だ。実際に被害が起きた際、職員がとっさに対処できるように、具体的な対

応手順を示したマニュアルやガイドラインはあるか。

村長

現在、判断基準や相談体制、対応手順を盛り込んだマニュアルを作成中。例えば「長時間の拘束」については時間の目安や、最終的には庁舎管理規則に基づく退去命令を出すなどの具体的手順を明示し、組織的に対応できる体制を整える。

玉田議員

マニュアル作成を急ぎ、組織全体でフォローする体制を構築すべきだ。また、北海道での条例施行などの動きがあるが、村としてカスタムハラ防止条例や要綱を制定する考えはあるか。

村長

現段階で条例制定にむけては動いていない。まずはマニュアルを完成・運用し、その後の事例や議員・職員の意見を聴取した上

で、条例化の検討を進めたい。

玉田議員

カスタムハラを発生させないための啓発や新たな取り組み（録音設備の導入等）についてはどうか。



村長

ホームページ等での周知を検討しているが、庁内への過度なポスター掲示は住民との距離を生む懸念もある。設備面では、事実確認と職員保護のため電話録音機能の追加を検討中。また、業務過多によるコミュニケーション不足が原因となる場合もあるため、機構改革を通じて住民と対話しやすい環境作りをトップ自ら進めたい。

玉田議員

実態把握のための職員アンケートの実施や、外部相談窓口の設置も視野に入れ、貴重な人材である職員を守る取り組みを強化してほしい。

村長

職員が「サービス業だから」と不当な要求に謝るような風潮を排し、間違っていないことは毅然と対応できる職場環境を、研修等を通じて作っていく。

令和8年第1回（3月）定例会 一般質問

「外部人材を活用した、音威子府村の活性化・魅力化について」

質問者 杉山 均 議員
答弁者 遠藤村長

杉山議員

地域プロジェクトマネージャー（以下、プロマネ）や地域活性化起業者（以下、起業者）、地域おこし協力隊（以下、協力隊）など、かつてない規模で外部人材を活用している。導入から半年以上が経過し、その成果は。

村長

外部人材は「変革のパートナー」と位置づけており、次の成果が出ている。
プロマネ…おと高応援CFで目標の200%を達成。木遊館の利用ルールのアップデートや新制度の立案等に貢献。
起業者…生成AIを活用したキヤラクター「ねっふちゃん」の運用、ふるさと納税の返礼品開発支援など、民間企業の専門性を注入している。
協力隊…エコミュージムおさしまセンターや木遊館での現場活動により、来館者数がコロナ禍前まで回復しており、各施設

設の稼働率向上や関係人口創出の着実な推進。

杉山議員

事業規模が大きい分、村の財政を心配する住民の声がある。財政負担の仕組みと現状について説明してほしい。

村長

これらの制度に係る経費は、国の重点施策として特別交付税により措置される。原則として村の実質的な持ち出しを極小化しな



から専門人材を確保できる仕組みだ。ただし、これらも貴重な税金であることに変わりはないため、単なる消費で終わらせず、収益増や地域価値向上の視点を持って事業運営を行っている。

杉山議員

今後の方向性について、現在の取り組みを深掘りしていくのか、あるいは新たな展開を考えているのか。

村長

社会情勢の変化に感じ、それぞれの局面に合わせて適切な手法で柔軟に深化させる。

協力隊…定住を強制せず、まずは地域の魅力を感じてもらおう
伴走支援を行い、結果としての定着を目指す。
起業者…2年目以降は民間企業のスピード感をより行政組織や地域課題に直結させ、目に見える施策を動かす。

プロマネ…任期終了後も村の仕組みとして「自走」できるように、制度の確立と運営ルールの定着を図る。

杉山議員

活動内容が見えないという声を聞く。村長が独断で進めてい

るといった誤解を生まないよう、広報の工夫が必要ではないか。

村長

発信不足は認識している。従来の広報紙とデジタル媒体、特に活動背景やプロセスを深く伝えられる「note」を組み合わせたハイブリッド型の発信を強化したい。また、3月28日には「第1回音威子府の新しい仲間たち交流会」を開催し、住民が外部人材と直接対話できる場を設ける。発信強化を目指し、住民と交流できる場作りを加速させたい。

杉山議員

村民の理解が最も重要だ。多忙な中で奮闘している職員も大切にしながら、納得感のある村政を進めてほしい。

音威子府村 Official note 二次元バーコード

可決・承認された議案

【議案第2号】

音威子府村特別職の職員給与に
関する条例の一部改正について

平成17年の減額改定以降、据
え置いていた村特別職の報酬に
ついて、特別職報酬等審議会の答
申内容を踏まえ、以前の水準に引
き上げることが適当と判断し、条
例改正を行なうもの。
(原案どおり可決)

【議案第3号】

音威子府村職員の給与に関する
条例の一部改正について

管理職手当について、現行の金
額について長く改定を行ってお
らず、管内的にも最も低い水準に
あることから、これを見直し改正
を行うもの。
(原案どおり可決)

【議案第4号】

音威子府村職員の旅費支給条例
の一部改正について

旅費計算の基礎としている鉄

道運賃について、特急料金が変
動制となったこと、及び宿泊料
について、昨今のホテル代の高
騰により見直しが必要となった
ことから、改正を行うもの。
(原案どおり可決)



【議案第5号】

音威子府村青少年宿泊研修施設の
設置及び管理に関する条例の一部
改正について

指定管理者の管理の期間につ
いて、柔軟な対応が必要と判断
し、管理の期間を「5年以内」に
改正するもの。
(原案どおり可決)

【議案第6号】

公の施設に係る指定管理者の指
定について(音威子府村住民保養
センター天塩川温泉)

地方自治法第244条の2第
3項の規定に基づき、本村が設
置する公の施設の管理を行わせ



住民保養センター「天塩川温泉」

る指定管理者を指定するもの。
施設名・音威子府村住民保養セ
ンター天塩川温泉
所在地・音威子府村字咲来91
9番地
指定管理者・カンパーニョホテ
ルズ株式会社
指定期間・令和8年4月1日か
ら令和13年3月31
日まで。
(原案どおり可決)

【議案第7号】

公の施設に係る指定管理者の指
定について(青少年宿泊研修施
設・村営音威富士スキー場ロッジ)

地方自治法第244条の2第
3項の規定に基づき、本村が設
置する公の施設の管理を行わせ
る指定管理者を指定するもの。
施設名・音威子府村青少年宿泊
研修施設及び村営音威
富士スキー場ロッジ
所在地・音威子府村字音威子府
200番地6
指定管理者・有限会社大矢根
指定期間・令和8年4月1日か
ら令和11年3月31
日まで。
(原案どおり可決)

【議案第8号】

音威子府村立学校給食共同調理
場設置及び管理に関する条例の
制定について

現在実施している配食サービ
スを学校給食とみなすための整
備の一環で、高校寮の調理室を
共同調理場とし、その管理や運

営方法を条例で定めるもの。
(原案どおり可決)

【議案第9号】

音威子府村過疎地域持続的発展
市町村計画の策定について

過疎地域の持続的発展の支援
に関する特別措置法に基づき、音
威子府村過疎地域持続的発展市
町村計画を策定し、同法第8条第
1項の規定により議会の議決を
求めるもの。
(原案どおり可決)

【議案第10号】

令和7年度音威子府村一般会計
補正予算(第9号)について

歳入歳出予算の総額から歳入歳
出それぞれ6200万円を減額
し、歳入歳出予算の総額をそれぞ
れ28億3000万円とするもの。



◎主な補正内容

【歳入】

・特別交付税

△1034万7千円

・地域複合施設「ときわ」使用料

△250万円

・子ども子育て支援金

制度移行準備補助金

165万円

・上音威子府本流線幸橋

補修設計委託業務補助金

△541万2千円

・基金繰入金

△6362万1千円

・村債

1770万円

【歳出】

・ガバメントクラウド利用料

△157万3千円

・村有林整備事業費

△208万1千円

・役場庁舎消防庁舎照明器具

LED化交換工事費

△326万7千円

・持家住宅促進奨励等補助金

△110万円

・地域おこし協力隊関係委託料

△627万6千円

・戸籍システム共同利用機器

更新負担金

△180万円

・地域複合施設「ときわ」

管理委託料

△520万円

・訪問・居宅介護事業補助金

△140万円

・会計年度任用職員報酬

△138万円

・中小企業振興条例に係る

補助金・利子助成

△184万円

・音威子府消防に要する

経費負担金

△162万5千円

・高等学校運営交付金

△150万円

・職員給与

△120万円

・この他の補正予算は、入札残、

事業規模縮小等に伴う執行残な

どが主な内容となります。

(原案どおり可決)

【議案第11号】

令和7年度音威子府村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について

ついて

歳入歳出予算の総額から歳入歳

出それぞれ906万5千円を減額

し、歳入歳出予算の総額をそれぞ

れ8470万2千円とするもの。

◎主な補正内容

【歳入】

・保険給付費等交付金

△1000万円

・一般会計繰入金

93万5千円

【歳出】

・子ども子育て支援金制度

準備システム改修委託料

93万5千円

・一般被保険者療養給付費

△900万円

・一般被保険者高額療養費

△100万円

(原案どおり可決)

(原案どおり可決)



議会傍聴しませんか？

村議会本会議は、受付で名簿に住所・氏名を記入するだけで簡単に傍聴できます。

ただし、傍聴規則は必ず守っていただきます。

定例会は年4回(3月・6月・9月・12月)あり、日程はその都度、回覧等でお知らせしています。

【議案第12号】

令和7年度音威子府村介護保険特別会計補正予算(第3号)(保健事業勘定)について

歳入歳出予算の総額に増減はなく、歳入歳出予算の総額をそれぞれ8193万4千円とするもの。

◎主な補正内容

【歳出】

・地域密着型

介護サービス給付費

△30万円

・高額介護サービス費

30万円

(原案どおり可決)

(原案どおり可決)

【議案第13号】

令和7年度音威子府村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ151万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1847万9千円とするもの。

◎主な補正内容

【歳入】

・普通徴収保険料

80万円

・一般会計繰入金

71万5千円

【歳出】

・後期高齢者医療広域連合納付金

80万円

(原案どおり可決)

・子ども子育て支援金制度
準備システム改修委託料
71万5千円
(原案どおり可決)

【議案第14号】

令和7年度音威子府村簡易水道事業会計補正予算(第4号)について

収益的収入および支出第1条収入第1款簡易水道事業収益から372万1千円を減額し4035万9千円に、支出第1款簡易水道事業費用に2万2千円を追加し420万3千円に、資本的収入および支出第2条収入第1款資本的収入から220万円を減額し2278万1千円に、支出第1款資本的支出から234万3千円を減額し3367万5千円にするもの。

◎主な補正内容

【収益的収入】

・一般会計繰入金 △2万1千円
・公営企業適用債 △370万円

【収益的支出】

・原水及び浄水費 △38万4千円
・総係費 △23万7千円
・職員給与費 14万円

・予備費 △50万3千円
【資本的収入】
・企業債 △220万円

【資本的支出】

・建設改良費 △234万3千円
(原案どおり可決)

【議案第15号】

令和7年度音威子府村農業集落排水事業会計補正予算(第2号)について

収益的収入および支出第1条収入第1款農業集落排水事業収益から391万4千円を減額し4377万円に、支出第1款農業集落排水事業費用から31万4千円を減額し5419万9千円にするもの。

◎主な補正内容

【収益的収入】

・下水道使用料 △30万円
・地方消費税還付金 8万6千円
・公営企業適用債 △370万円

【資本的支出】

・総係費 △30万円
・予備費 △1万4千円
(原案どおり可決)

【議案第16号】
令和8年度音威子府村一般会計予算ほか5会計予算について

【予算審査特別委員会付託】

(原案どおり可決)

【報告第1号】

議会改革特別委員会報告

(原案どおり承認)

【発議第1号】

閉会中の調査の申し出について

閉会中に、住民福祉(子育て支援・医療・介護・福祉)の現況と課題の調査および人口減少問題に関する施策の検証と課題整理について調査が必要なため。
(原案どおり可決)

【発議第2号】

音威子府村議会議員の派遣について
令和8年4月1日から令和9年3月31日までの期間において、村の懸案事項の陳情および行政視察調査並びに研修等のため、議会議員を道内外へ派遣すること。
(原案どおり可決)

第1回臨時会を開催

令和8年第1回臨時会が2月17日に召集され、専決承認を含む一般会計補正予算について審議を行い、同日閉会しました。

今臨時会では、国が行う物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業について増額補正され、

本村では、「食料品等物価高騰生活支援給付金」として住民1人あたり2万5千円が支給されることなどが決定しました。

可決・承認された議案

【承認第1号】

専決処分事項の承認を求める件について(令和7年音威子府村一般会計補正予算(第7号))

専決処分を行った令和7年度一般会計補正予算(第7号)について承認を求めるもの。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3695万9千円を

追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ28億6995万9千円とするもの。

◎主な補正内容

【歳入】

・普通交付税 3426万9千円

・衆議院議員総選挙委託金 269万円

【歳出】

・財政調整基金積立金 3058万1千円

・減債基金積立金 368万8千円

・衆議院議員総選挙費 269万円

(原案どおり可決)



【議案第1号】

令和7年度音威子府村一般会計
補正予算（第8号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出
それぞれ2204万1千円を追加
し、歳入歳出予算の総額をそれぞ
れ28億9200万円とするもの。

◎主な補正内容

【歳入】

・物価高対応

子育て応援手当交付金

232万円

・物価高騰対応重点支援

地方創生臨時交付金

1979万6千円

・衆議院議員総選挙委託金

6万9万円

・基金繰入金

△14万4千円

【歳出】

・物価高騰対策費

1995万7千円

・物価高対応

子育て応援手当交付金

232万円

（原案どおり可決）

予算審査特別委員会

3月11日から令和8年度音

威子府村一般会計、各特別会計

および各公営企業会計の予算審

査が行われ、審査終了後に再開

された本会議において委員長よ

り「原案可決」の報告があり、全

会一致で成立となりました。

◆審議内容（要点抜粋）

【歳入】

【質問】 交通ターミナル使用料に

ついて、チャレンジショップと

は別にプロポーザル公募し、使

用料を徴収するということか。

【答弁】 旧駅そばスペースに限って

はニーズが高く、より踏み込んだ

利用と長期的な運営を想定し、広

くプロポーザルで公募したい。公

共施設としての公正性を保ちつ

つ、使用料を徴収する。旧宗谷バ

ス事務所は従前どおりとする。

【質問】 資源ごみ売却代金が少な

いが、私たちの努力で収入増に

つなげることは難しいのか。

【答弁】 資源ごみの買取価格が変動

しており、現在、鉄などは引き取り

手数料を支払うケースもあり、少

額の収入にしかない。住民の

皆さんに努力いただいても、収入

増につなげることは難しい。

【歳出】

【総務課関係】

↳外部民間人材活用事業関連

【質問】 この事業の目的は何か。主

役不在の事業ではないか。

【答弁】 目的は村の活性化であり、

人口減少対策である。財源が確保

されているため、有効に活用する。

本事業の主役は村民であり、地域

活性化のために新しい風を取り入

れたいと考えている。

【質問】 本事業の事業費は交付税措

置されることで間違ったのか。

【答弁】 ほぼ全額、特別交付税で措

置される。



【質問】 経費は特別交付税措置され

ているが、多額の報酬を支払って

いるなかにおいて、一部の外部人

材の勤務実態について疑義がある

という声を聞く。勤怠管理はどう

なっているのか。

【答弁】 現状、活動報告書による管

理になっている。事実確認を行い、

適切な管理体制を確立したい。

↳無人駅の維持について

【質問】 なぜ無人駅を維持し続ける

のか、考えをお聞きしたい。

【答弁】 地域から様々な声が出てい

るのは承知している。宗谷線がJ

R単独維持困難路線であり、色々

な情報が飛び交っているが、8年

度中に方向性を示したい。

【住民課関係】

↳訪問・居宅介護事業関連

【質問】 この事業のサポートはどの

範囲まで可能なのか。

【答弁】 突発的な対応は難しいが、

事前に要望してもらえれば通院に

限らず、買い物等でも対応する。

【経済課関係】

↳中小企業振興基本条例について

【質問】 制定から10年以上経過し、

事業者を取り巻く状況も変化して

いる。使いやすいうように見直し

が必要ではないか。

【答弁】 都度、見直しも行っている

が、状況も変化している。関係機

との協議を検討していきたい。

【教育委員会関係】

↳放課後子ども教室について

【質問】 外部民間人材を活用すると

の説明だったが、土日も預けられ

るようになるのか。

【答弁】 ニーズがあれば検討可能だ

が、運営主体は民間にしたいと考

えている。行政はバックアップの

立場となり、その際の責任の所在

などについて協議が必要となる。



無人駅のひとつ「JR咲来駅」



将来的な民間移行も見据えて整備していききたい。

学校施設のLED化について

役場・消防庁舎のLED化と違い、学校のLED化はなぜ「リース（借上）」なのか。

答弁 リースの方が安価のため。役場庁舎は脱炭素関連の補助金を活用する際、「リース」が対象外だったため「工事」とした。

〜咲来公民館について〜

質問 咲来公民館の体育館は、今後どのようにしていく考えか。

答弁 修繕・解体とも見積もりが高額となり、先延ばしせざるを得なかったが、早急に判断したい。民間活用も含め、村費負担を抑える方法を検討していく。

【総括質疑】

質問 外部民間人材等活用事業に係る予算が大きい。積極的なPRを行い、しっかりとした実績を作るべき。また、これらの制度を活用して、子育て世代が移住できる仕組みづくりの検討を願う。

答弁 取り組みや人となりのPRが不足していることは否めない。今後、理解を深める取り組みに努めたい。子育て世代の移住については、雇用の課題が大きな壁となり、仕組みづくりは厳しいと想像するが、非常に興味深く、考えていきたい。

質問 大変厳しい財政状況をどのように受け止め、今後どのような村政執行をしていくのか。併せて、基金の見直しは行わないのか。

答弁 大変厳しい状況は理解している。予算の増大は物価高騰や人勤による人件費など外的な要因が大きい。抑えられるものは抑え、財政の棚卸しも検討しつつ、国への要請も行いたい。基金については、見直しの時期に来ていると思

う。新年度で精査し、あり方を検討していきたい。

質問 物価高騰対策は、どのような支援を考えているのか。

答弁 村単独の支援は非常に厳しいが、現状、使用料や手数料などは値上げしない方向。物価高騰のあおりを受ける住民のために、国などに陳情等も行っていく。

質問 機構改革に対するモチベーションが下がっていないか。

答弁 下がっている訳ではないが、人員配置で大変に苦慮している。新年度の上半期中まで猶予をいただきたい。

質問 予算執行にあたっては、熟考を重ねた慎重な執行に努めていただきたい。併せて、職員一丸となった村づくりをお願いしたい。(答弁不要)

議会のうごき

【 2月 】			
17日	村議会第1回臨時会	議 場	(全 議 員)
24日	日本社会事業大学との包括連携協定締結式	役 場	(議 長)
25日～26日	上川北部市町村議会議長会 (1月定例会)	士 別 市	(議 長)
【 3月 】			
1日	おといねっふ美術工芸高等学校卒業証書授与式	高 校	(全 議 員)
2日	上川北部消防事務組合議会第1回定例会	名 寄 市	(関係議員)
	名寄地区衛生施設事務組合議会第1回定例会	名 寄 市	(関係議員)
3日	行政常任委員会	役 場	(全 議 員)
7日	自衛隊入隊予定者激励会	名 寄 市	(議 長)
10日～12日	村議会第1回定例会 (予算審査特別委員会含む)	議 場	(全 議 員)
13日	道の駅おといねっぷリニューアルオープン式	道 の 駅	(全 議 員)
14日	音威子府小中学校卒業証書授与式	小 中 学 校	(議 長)
15日	音中道路開通記念イベント	中 川 町 / 音 威 子 府 村	(議 長)
16日	例月出納検査	役 場	(関係議員)
22日	音中道路開通記念式典	中 川 町	(全 議 員)
23日	上川北部市町村長会議 (挨拶)	村 内	(議 長)
27日	上川北部市町村議会議長会監査	村 内	(議 長)
【 4月 】			
7日	音威子府小中学校入学式	小 中 学 校	(議 長)
8日	音威子府消防団総会	消 防 庁 舎	(関係議員)
9日	おといねっふ美術工芸高等学校入学式	高 校	(全 議 員)
13日	例月出納検査	役 場	(関係議員)